

## 一般会計

70億7,000万円

対前年比5,000万円 (0.7%) の増

### 歳入

町税は、44億8,947万円が歳入全体の63.5%を占めており、前年度と比べ6,524万円の増となりました。内訳は、町民税個人が6億588万円(282万円増)、町民税法人が4億4,777万円(2,713万円増)、固定資産税が30億8,821万円(3,661万円増)などとなっています。

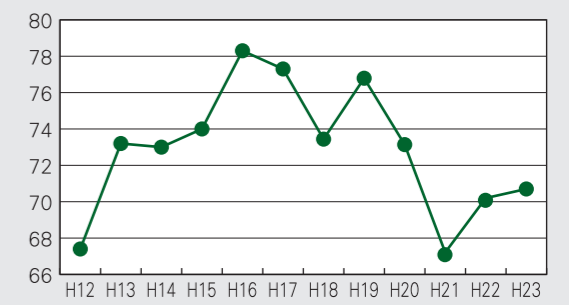
繰入金は、3億9,889万円が2億1,840万円の減となりました。財源不足を補うための財政調整基金などからの繰り入れです。

国庫支出金は、6億4,960万円で、道路整備や都市計画事業のための社会資本整備総合交付金や保育所運営費負担金、子ども手当費負担金などにより2億3,376万円の増となりました。

県支出金は、地域密着型介護老人福祉施設整備に対する介護基盤緊急整備等特例交付金や緊急雇用創出事業補助金などにより2億2,839万円増の5億4,757万円です。

町債は、1億4,000万円で、財源不足を補うための臨時財政対策債の借入を予定しています。

一般会計当初予算額の推移



(18.1%)の増となりました。

次いで総務費が10億6,957万円(構成比15.1%)で、旧高橋小学校の解体工事や光の道整備事業の支線工事などの完了と町民税法人の還付金が減額となったため、2億535万円の減となりました。

土木費は10億4,409万円(構成比14.8%)となり、道路整備関係では、減となりましたが、旧芳賀高校舎解体工事と公園整備工事により、5,532万円の増です。教育費は、8億5,017万円(構成比12.0%)で1億5,662万円の減となりました。これは、芳賀中学校技術・家庭・音楽室棟建築工事が完了したためです。

このほか、公債費は5億4,506万円で、4,481万円の減、衛生費は4億8,516万円で、乳幼児Hib・肺炎球菌ワクチン予防接種などにより1,839万円の増、農林水産業費は4億2,835万円で、県営土地改良事業負担金などの減により2,585万円の減となっています。

### 歳出

歳出を目的別にみると、民生費が最も多く18億6,944万円で、全体の26.4%を占めています。地域密着型介護老人福祉施設整備に対する交付金や子ども手当給付費などにより前年度と比べ2億8,650万円

## 特別会計

38億2,400万円

公共下水道が43.4%の増

特定の事業を行うために一般会計とは区別して経理される特別会計は、下表のとおり8会計設置されています。これらの特別会計予算の合計は、38億2,400万円で一般会計と合計した町の予算総額は、108億9,400万円となりました。

予算額が大幅に増えているのは、公共下水道事業で、6,300万円(43.4%)の増の2億800万円となっ

ています。これは、祖母井南部地区の貯水池整備工事などによるものです。

農業集落排水事業は、和泉ニュータウン地区の加入に伴う排水管布設工事などの完了により1億3,100万円(42.5%)の減、祖母井南部土地区画整理事業は、街区工事と移転補償の減少により、8,200万円(25.5%)の減となっています。

会計名	予算額	歳出の概要	
国民健康保険特別会計	18億8,700万円	保険給付費、後期高齢者支援金	
農業集落排水事業特別会計	1億7,700万円	8地区処理施設の維持管理費	
工業団地排水処理センター特別会計	6,000万円	処理センターの維持管理費	
介護保険特別会計	保険事業勘定	11億1,400万円	介護サービスへの給付費
	サービス事業勘定	600万円	介護予防支援事業費
公共下水道事業特別会計	2億800万円	下水管布設工事、処理場の維持管理	
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	2億3,900万円	道路等の工事、移転補償費	
宅地造成事業特別会計	1,500万円	分譲地の販売促進	
後期高齢者医療特別会計	1億1,800万円	後期高齢者医療広域連合納付金	
合計	38億2,400万円		